



## 理事長あいさつ

白鷹福祉会理事長 新野 晃 敏

新年明けましておめでとうございます。

昨年10月に、白鷹町文化交流センターあゆーむで開催された白鷹町誕生60周年記念式典の折り、野村総合研究所顧問の増田寛也氏が、日本の急激な人口減少問題に触れ、2040年には白鷹町の人口が9千人位に減少し、特に出産適齢期の若い女性が激減すると予測しておられました。少子高齢化の弊害は以前から指摘されていましたが、科学的なデータに基づいて出された数字には大変衝撃を受けました。

現在の平均寿命は男性が80・2歳で女性が86・6歳、自立して日常生活が送れる健康寿命は男性が71・2歳、女性が74・2歳となっておりますが、三

人に一人が高齢者になっている現在、

65歳以上を高齢者と定義し若い人たちに支えてもらう世代とする現在の考え方は見直すべきであると思います。そして健康寿命を保っている高齢者にはまだまだ社会の一員として頑張ってもらうべきであり、そのためにも自分の健康は自分で守り、社会に貢献して行くと言う意識を今までより以上に持っていたいただきたいと思えます。

さて、昭和54年に設立された白鷹福祉会は、翌55年に在宅介護が困難な高齢者をお世話する施設として、特別養護老人ホーム白光園の業務を開始致しました。その後一貫して公共性と公益性を追求しながらも、関係各位のご指

導とご協力のお蔭で順調に進捗し、現在は一法人四施設からなる福祉施設として、皆様から安心してご利用いただける施設になっていきます。しかし設立後36年目に入り、白光園の一部には老朽化も目立って参りましたので、今後は県並びに町ご当局に相談し、ご指導をいただきながら、白光園の改築計画を進めて参りたいと考えています。白鷹福祉会ではこれからも、安全安心な施設づくりを目指して努力を傾注して参りますので、皆様には今後とも倍旧のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

